GMP Grade Vitrified Cell Freezing medium

GMP グレードガラス化細胞凍結保存液

【DMF 番号】
040587

【商品名】
GMP グレードガラス化細胞凍結保存液
【商品番号】
SNC1011
【パッケージ仕様】
100mL/瓶
【製品用途】
本製品は、臍帯間葉系幹細胞や脂肪間葉系幹細胞など、間葉系幹細胞の凍結保存に特化しています。
【製品性能指標】
外観: 無色透明でわずかに粘性のある液体
pH (25℃): 6.8～7.8
浸透圧: 1800～2500 mOsm/kg (直接検出法)
エンドトキシン: <0.25EU/mL
マイコプラズマ: 陰性
無菌試験: 陰性
【商品の特徴】
本製品には、細胞内外保護剤が含まれており、凍結保存過程に生じる細胞溶質の損傷を軽減します。また、水分子の温度低下や再加熱時に起こる氷結晶の形成を減少させ、ガラス化凍結保存を実現します。
動物由来成分、タンパク質成分、ジメチルスルホキシド (DMSO) を含まず、すべて薬用レベルの成分を使用しているため、安全性と性能が信頼できます。
細胞凍結保存には複雑な温度調整が不要で手軽に使用できます。
【主な構成成分】
細胞内保護液、細胞外保護液、グルコース、無機塩
【保存条件および有効期限】
常温で保管し、光を避けて乾燥した場所で 12 ヶ月間保存できます。

【使用方法】

細胞凍結保存手順

1. 凍結保存する細胞を消化・計数し、遠心分離後、上清を捨てる。
2. 適量の本製品で細胞を再懸濁し、細胞密度を調整します。本製品に適した細胞密度は、5×10^5～2×10^7細胞/mL です。
3. 細胞を凍結保存管に移し、必要な細胞情報を記録します。-80℃の冷凍庫に直接保存します。
4. 長期保存には液体窒素を使用し一晩放置します。

細胞蘇生手順

1. 37℃の水浴槽を予熱します。
2. 液体窒素から取り出した細胞を直ちに水浴槽に入れ、1～2 分以内に急速解凍します。
3. 基礎培地で細胞を再懸濁し、遠心後に細胞数を計測します。
4. 細胞を培養します。

【注意事項】

1. 本製品は、主に臍帯間葉系や脂肪間葉系幹細胞の凍結保存専用です。
2. 常温保存が可能ですが、低温で保存すると液体が層化することがあります。その場合は、混合後に使用しても性能に影響はありません。
3. 細胞は再懸濁後、10 分以内に-80° C の冷凍庫に移動し、30 分を超えないようにしてください。これにより、細胞の蘇生率と活性が維持されます。
4. 細胞が液体窒素に移行した後は、常に液体窒素に完全に浸かっていることを確認し、頻繁な温度変動を避けてください。温度変動は凍結保存の効果に悪影響を与える可能性があります。

株式会社日本ライフサイエンスサービス
東京都中央区日本橋本町 2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング 5 階
ホームページ：www.jlss.co.jp
問い合わせ：wqcheng@jlss.co.jp